

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									<b>2.9</b>
<b>Q-1 室内環境</b>									<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>									<b>3.3</b>
<b>1.1 騒音</b>									
1.1.1 1 暗騒音レベル									
2 騒音対策									
2.1 二重サッシ採用。レベルは閑静な地域のためマニュアル等より推									
<b>1.2 遮音</b>									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
T-2採用 軽量耐火間仕切遮音性能TLD-57を使用 コンクリート厚200+防振用フローリング採用 コンクリート厚200+防振用フローリング採用									
<b>1.3 吸音</b>									
吸音材は無使用。共用部分には床にタイルカーペット使用。									
<b>2 温熱環境</b>									<b>3.2</b>
<b>2.1 室温制御</b>									
1 室温設定									
2 室温変動・過熱抑制性									
3 外皮性能									
4 ゾーン別制御性									
5 温度・湿度制御									
6 個別制御									
7 時間・空間・気象に対する対応									
8 監視システム									
性能評価省エネ等級4、低炭素建築物(住戸)認定済									
<b>2.2 湿度制御</b>									
<b>2.3 空調方式</b>									
<b>3 光・視環境</b>									<b>3.1</b>
<b>3.1 昼光利用</b>									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
LDのワイドな窓で十分な昼光を得ている。									
<b>3.2 グレア対策</b>									
1 照明器具のグレア									
2 昼光制御									
<b>3.3 照度</b>									
1 照度									
2 照度均斉度									
<b>3.4 照明制御</b>									
<b>4 空気質環境</b>									<b>4.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>									
1 化学物質汚染									
2 臭気対策									
3 タバコ対策									
4 レンガ対策									
内装材全てにF☆☆☆☆または規制対象外建材使用									
<b>4.2 換気</b>									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4 給気計画									
<b>4.3 運用管理</b>									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
<b>Q-2 サービス性能</b>									<b>3.7</b>
<b>1 機能性</b>									<b>4.3</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
棟内LAN配線実装。Gbitクラスのブロードバンド利用可									
<b>1.2 心理性・快適性</b>									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
居室天井高さ2.5m以上確保									
LED照明。共用空間を重厚に演出。共用・住戸内共に間接照明等									
<b>2 耐用性・信頼性</b>									<b>3.2</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>									
1 耐震性									
2 免震・制振性能									
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>									
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
3 配管・配線材の更新必要間隔									
4 主要設備機器の更新必要間隔									
巻末の補助資料1より磁器質タイル50年									
巻末の補助資料1よりビニルクロス20年									
巻末の補助資料1より電線類、消火炭素鋼管20年									
巻末の補助資料1より揚水ポンプ15年									
<b>2.3 適切な更新</b>									
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 主要設備機器の更新									
<b>2.4 信頼性</b>									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									
4.8L節水便器、UB節湯A1・B1器具設置									
地下空間になし									
通信3社より選択可能。地下空間になし									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.0</b>	0.29	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.2</b>
3.1 空間のゆとり				基準階階高2.96m	-	-	<b>3.6</b>	0.50	
1 階高のゆとり					-	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					-	-	<b>3.0</b>	0.50	
3.3 設備の更新性					<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性					-	-	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		
3 電気配線の更新性				3.0	0.13	-	-		
4 通信配線の更新性				3.0	0.13	-	-		
5 設備機器の更新性				3.0	0.27	-	-		
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.27	-	-		
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.6</b>
1 生物環境の保全と創出		G			<b>1.0</b>	0.40	-	-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		G			<b>2.0</b>	0.20	-	-	<b>2.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮					<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		<b>2.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.2</b>
1 建物の熱負荷抑制	W			性能評価省エネ等級4、低炭素建築物(住戸)認定済	<b>5.0</b>	0.40	-	-	<b>5.0</b>
2 自然エネルギー利用					<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			燃焼系瞬間式給湯器採用	<b>4.1</b>	0.40	-	-	<b>4.1</b>
4 効率的運用					-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	W				-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	W				-	-	-	-	-
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.6</b>
1 水資源保護					<b>3.6</b>	0.15	-	-	<b>3.6</b>
1.1 節水	W			4.8L節水便器、UB節湯A1-B1器具設置	<b>4.0</b>	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					<b>3.6</b>	0.85	-	-	<b>3.6</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>3.6</b>	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				5.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>2.0</b>	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				<b>3.0</b>	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				<b>4.0</b>	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>4.5</b>	0.18	-	-	
1 消火剤	W			内装材と設備が絡みせず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取り外すことが可能。	4.0	0.50	-	-	
2 断熱材	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒	W			ノンフロン断熱材を使用	-	-	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.3</b>
1 大気汚染防止	W				<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
2 騒音・振動・悪臭の防止					<b>3.0</b>	0.05	-	-	<b>3.0</b>
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					<b>1.6</b>	0.10	-	-	<b>1.6</b>
3.1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制				日影規制を満たしている。	3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				広告等の夜間照明なし。反射の少ないタイルを使用しグレア発生な	<b>5.0</b>	0.05	-	-	<b>5.0</b>
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
6 地域インフラへの負荷抑制					<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制				駐輪台数は住戸数の2倍分確保。駐車台数は住戸分確保	3.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S	ゴミステーションは分別区画。散水栓設置。全面ロードヒーティン	3.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積按分 総合スコア
		2,185 m <sup>2</sup>	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの 高効率化	4.1	-	-	-	4.1
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	4.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-